

# 中 心 市 宣 言 書

平成 21 年 3 月 17 日

延 岡 市

## 中心市宣言

今、わが国は急速な高齢化の進行や、少子化に伴う人口減少社会を迎えており、社会構造が大きく変化してきています。また、経済のグローバル化による産業構造の変化や高度情報化の進展、更に地方分権の推進により、自己決定と自己責任を基本とした、地域独自の創意工夫による取組みが、これまでに増して地方自治体に求められています。

このような本市を取巻く社会情勢への対応が求められる中、延岡市では、第5次長期総合計画において、「市民力・地域力・都市力が躍動するまちのべおか」を都市像として掲げ、市民と行政が協働したまちづくりに取り組んでいます。

また、本市は、東九州屈指の工業集積地としての位置付けに加え、更に合併により拡大した農林水産業など多彩な産業を有する宮崎県北部の中心的な都市となっています。

その中で、雇用の場の創出や中心市街地の活性化、公共交通の充実等からなる「新生のべおかプロジェクト」を展開していくことにより、九州圏の一体的な発展を担う「東九州の基幹都市」としての機能の整備を図っていくことにしています。

一方で、地方財政がますます厳しさをます中、複雑多様化する住民サービスへの対応など、新しい時代の課題を見据えた動きを活発にする必要があります。

そのためには、「天孫降臨」の地としての神話や伝説に溢れた本地域が擁している、自然、文化、人材、産業などの資源を戦略的に活用していく広域での地域経営をこれまで以上に行いながら、本地域全体の活性化や安心して暮らせる地域の形成を目的とした定住自立圏構想への取組みが必要となります。

このようなことから、延岡市は、「宮崎県北部広域行政事務組合」を構成する市町村など周辺自治体と、相互の意思を尊重し合いながら、具体的・有効的な新たな連携や役割分担のあり方を協議し、地域全体が魅力的で活力に溢れ、持続的に発展することを目指し、中心的な役割を果たしていくことを、ここに宣言します。

平成21年3月17日

延岡市長

首藤正治

## 1. 都市機能の集積状況及び利用状況

延岡市は、東九州を縦断する国道 10 号や西九州との動脈となります国道 218 号との結節点であり、将来的には九州圏の高速交通ネットワークとなります東九州自動車道、九州横断自動車道延岡線が整備されることに加え、JR 日豊本線「延岡駅」の鉄道コンテナヤードや近隣する日向市の重要港湾「細島港」と合わせて宮崎県北部の物流の拠点となっており、東九州の交通の要衝となります。

また、宮崎県北部において最大の人口を擁しており、東九州有数の工業都市として、本地域の経済を牽引するとともに、地域の住民の命を守る高度医療機関や情報基盤となりますケーブルテレビ網をはじめ文化施設、教育機関、商業施設など様々なサービスを提供できる施設が整備されています。

このように、本市には、地域の市町村や企業、住民の皆様提供できる都市機能が数多く存在しています。

主要な都市機能の集積状況は、次のとおりです。

### (1) 高度・救急医療

#### ①宮崎県立延岡病院

宮崎県北部における唯一の第三次救急医療施設である「宮崎県立延岡病院」は地域住民の生命を守る最後の砦となっています。

宮崎県立病院利用者数 平成 19 年度

区 域 別	入院 (延べ)	外来 (延べ)
延 岡 市	86,326 人	75,998 人
延岡市以外の市町村	61,333 人	41,514 人
合 計	147,659 人	117,512 人

#### ②延岡市夜間急病センター

本市にある「延岡市夜間急病センター」に小児科の医師を集約し、県北部 6 市町村と連携して 365 日、準夜帯の救急診療を実施しています。

利用者数 (内科・外科含む) 平成 19 年度

区 域 別	利用者数
延 岡 市	7,575 人
延岡市以外の市町村	1,815 人
合 計	9,390 人

### (2) 工業集積

本市には、地域の中核企業である「旭化成グループ」や「旭有機材工業(株)」、そして、25 社が立地する「延岡鐵工団地」を始めとした高い技術力を持つ中小

企業群の集積がなされており、雇用の場の提供に寄与するとともに、最近では新事業創出に向けた「九州保健福祉大学」との産学協同研究も進んでいます。

集積状況

(平成 18 年「宮崎県の工業」)

区 分	人 口	事業所数	従業員数	製造品出荷額 (万円)
延 岡 市	133,593	242	8,915	29,423,208
宮 崎 県	1,148,287	1,697	59,049	133,206,041
県内占有率	11.6%	14.3%	15.1%	22.1%

※合併前北川町含む。人口は平成 18 年 12 月 31 日現在

### (3) ICT インフラ

本市、県と地元企業とで設立した第 3 セクター「株式会社ケーブルメディアワイワイ」は、平成 3 年に開局し、平成 12 年には伝送路を高度化しインターネット接続サービスも開始しています。平成 20 年にはケーブル電話サービスも開始しています。

「株式会社ケーブルメディアワイワイ」加入世帯

区 域 別	ケーブルテレビ	インターネット
延 岡 市	29,054	9,466
延岡市以外の市町	11,397	3,051
合 計	40,451	12,517

平成 21 年 2 月末現在

### (4) 中心市街地

本市の中心市街地には 8 商店街があり、国道 10 号や国道 218 号を運行経路としているバス路線のターミナル及び鉄道コンテナを扱う JR 延岡駅も立地しており、人流や物流の起点・拠点となっています。

#### ①中心市街地のバスセンターを起点・経由しているバス路線

区 分	系統数	運行便数 (平日)
延岡市内運行	3 8	2 4 8
延岡市以外の地域への運行	1 3	6 6
合 計	5 1	3 1 4

平成 21 年 3 月 10 日現在

#### ②商業集積 (小売業)

(平成 19 年「宮崎県の商業」)

区 分	事業者数	従業員数	年間商品販売額 (万円)
延 岡 市	1,419	7,850	11,600,544
延岡市・西臼杵郡 3 町	1,747	9,150	13,410,319
延岡市の占有率	81.2%	85.8%	86.5%

(5) 可燃ごみ処理施設「延岡市清掃工場」

本市の清掃工場の焼却施設を活用して、宮崎県西臼杵郡3町の可燃ごみを受け入れて処分しています。

可燃ごみの処理実績（平成19年度実績）

区 域 別	処 理 量
延 岡 市	49,412 t
西臼杵郡3町	4,289 t
合 計	53,701 t

(6) 教育

①大学

本市には「九州保健福祉大学」や「聖心ウルスラ学園短期大学」があり、福祉分野での連携や産業界との連携などが行われています。

九州保健福祉大学の学生数

出身地	学生数（人）
延岡市	237
宮崎県内	599
その他	1,118
合 計	1,954

平成21年2月末現在

②高等学校（県立高校5校）

出身地	学生数（人）
延岡市	2,600
延岡市以外の市町村	319
合 計	2,919

平成20年度

(7) その他の主な都市機能（一部再掲を含む）

分類	都市機能		施設名等
医療 健康	救急医療	初期救急医療施設	延岡市夜間急病センター
		第二次救急医療施設	県立延岡病院 延岡市医師会病院 他3施設
	小児医療 (小児救急医療含む)	初期救急医療施設	延岡市夜間急病センター
		第二次救急医療施設	県立延岡病院
	周産期医療	地域の中核医療機関	県立延岡病院

	災害医療		地域災害医療センター	県立延岡病院	
	疾病	がん	地域がん診療連携拠点病院	県立延岡病院	
		脳卒中	急性期を担う中核的な医療機関	県立延岡病院	
		急性心筋梗塞			
健康増進			余熱利用健康施設「ヘルストピア延岡」(温水プール、浴場等)		
文化 教育	文化施設			延岡総合文化センター、延岡市公会堂「野口記念館」他3施設	
	社会教育施設			カルチャープラザのべおか(図書館、ホール等)他3施設	
	高等教育機関	大学		私立2	
		高等学校		県立5、私立2	
		専修学校		(社)延岡看護学校、トライアート	
	運動施設	屋外スポーツ		西階運動公園(10施設)他7施設	
屋内スポーツ		延岡市民体育館他5施設			
商業	大型商業施設			大規模小売店舗 25店舗	

## 2. 想定する連携項目

周辺市町村と連携する項目としては、主に次のような分野を想定しています。ただし、連携する分野は周辺市町村ごとに異なります。

### (1) 生活機能の強化に関すること

#### ①医療の分野

- ・第2・3次医療機関である「宮崎県立延岡病院」と地域医療機関との機能分担による地域医療連携体制の構築
- ・「延岡市夜間急病センター」運営の連携した協力体制の構築
- ・その他、地域の医療資源を確保し地域医療の充実に関すること

#### ②産業の振興及び雇用の場の確保

- ・地元中小企業の製品等の全国展示会への出展支援等による地域の地場企業の振興や各産業間の連携の推進
- ・雇用を確保するための企業誘致等を図る大規模工業団地の造成
- ・その他雇用の確保に関すること

#### ③福祉の分野

- ・九州保健福祉大学や聖心ウルスラ学園短期大学、中心市街地にある子育て支援施設等を活用した子育てから高齢者福祉などの取組み。

#### ④その他

地域の安定した生活や活性化に資する分野

(2) コミュニケーションやネットワークの整備・活用に関すること

①産業振興のための社会資本の連携活用

地域の自治体等と連携して、鉄道コンテナヤード、延岡南道路、重要港湾「細島港」の有機的な活用による物流の効率化を図る取組み

②公共交通の活性化

中心市街地にあるバスターミナルに接続する広域的なバス路線の維持活性化

③ICT インフラの整備

情報通信ネットワークの整備やケーブルテレビ網による地域の情報共有への活用

④高速交通網及び幹線・生活道路の整備、活用

- ・地域市町村が連携し整備の促進を図る
- ・東九州自動車道等の高速交通網と連結した既存の交通インフラの有効活用

⑤地域の相互理解と交流の推進

- ・本地域は沿岸部から中山間地域と広く多様であり、地域の児童生徒の交流等による美しい圏土を守り次代に引き継ぐ取組み
- ・教育、文化、スポーツ等の交流

⑥その他に他の地域を含めたネットワークの形成に関すること

(3) 地域の人材交流・育成

①地域内の産業振興等を図るための地域住民や企業の交流及び人材育成

②地域内の市町村における地域活性化に資する施策研究・検討の職員交流

③生活機能の強化に資するための外部人材の活用

④その他地域の人材を育成すること

3. 中心市である延岡市への通勤通学割合が10%以上ある町

市町村	常住する就業者数及び通学者数(a)	本市への通勤・通学者数(b)	通勤通学割合(b)/(a)
門川町	8, 480	1, 837	21.7%

平成17年国勢調査（自宅従業者を除く）

4. 上記3ほか、中心市である延岡市と定住自立圏構想を推進するため連携の意思を有する市町村

日向市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、美郷町、諸塚村、椎葉村